

全国大学書写書道教育学会・第27回(京都)大会ラウンドテーブル

メインテーマ「これからの書写書道教育をめざすために」

日時 平成 24 年 10 月 7 日 (日) 14:50~16:40

会場 京都教育大学

(〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 TEL075-644-8300 教育学部・岡田)

【ラウンドテーブルは入場無料・事前申込不要】

本年度の京都大会では、例年のシンポジウムに代わり、ラウンドテーブルを4会場で開催することとなりました。メインテーマを「これからの書写書道教育をめざすために」とし、本学会で活躍しておられる先生方に世話人になっていただき、書写書道教育の在り方や今後についていろいろな角度から熱く語っていただき、ラウンドテーブルに参加いただいた会員の皆さんとともに意見交換をして、それぞれのテーマについてこれからの研究の方向性や在り方を考え、模索していけたらと考えております。

学会として、これからの書写書道教育をどのように捉えていったらよいのか、そのための歴史的研究、教材研究、実践研究など、また、今日の教育に課せられている諸問題と書写書道との関わり等も重要な課題になると考えます。

4つの内容及びその核となって話題の提供及び進行していただく世話人の先生方が下記のように決まりましたのでご報告いたします。当日、自由にテーブルにおつきください。なお、会場の都合により、形態が変更になる場合がございます。

全国大学書写書道教育学会・企画広報局

テーブル① 書写・書道教育の実践論

- 小・中・高のなかでどのように指導実践をしていったらよいか。

(具体的実践例の紹介なども兼ねる)

茨城大学 齋木久美

福岡教育大学 和田圭壮

テーブル② 書写・書道教育の内容論

- 書写書道教育の学習・指導内容について考えていかなければならないこと。

(常用漢字、許容の書き方、硬毛の関連など)

千葉大学 樋口咲子

千葉大学 津村幸恵

テーブル③ 書写・書道の学習者論

- 学習者の立場から、考えていかなければならないことは何か。

静岡大学 杉崎哲子

東京学芸大学 清水文博

テーブル④ 書写から書道へのつながりについて

- 書写と書道との関連性はどこにあるか。

(学習指導要領における中学3年の書写で目指すものは何か、など)

広島大学 松本仁志

信州大学 小林比出代

主催：全国大学書写書道教育学会 後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会